みんぱく 国際シンポジウム

国立民族学博物館

国立民族学博物館機関研究プロジェクト「包摂と自律の人間学」

写真提供：上 Ioane Burese；下 深川 宏樹

「ケアと育みの人類学」
国際シンポジウム

グローバル化における紛争と宗教的社会運動

オセアニアにおける共生の技法

Cargo Cults and Contemporary Conflicts in Pacific Societies: Seeking a Path of Coexistence in the Age of Globalization

日時：平成25年1月26日（土）10時-17時10分
場所：国立民族学博物館 第4セミナー室（本館2階）
定員：70名（要参加申込・日英同時通訳あり）
主催：国立民族学博物館／後援：日本文化人類学会・日本オセアニア学会

【お申込・お問い合わせ先】
紛争と宗教シンポジウム事務局（国立民族学博物館内）
http://www.minpaku.ac.jp/research/activity/news/corp/20130126 日本語
http://www.minpaku.ac.jp/english/research/activity/news/corp/20130126 English
〒565-8511 大阪府吹田市千里万博公園10-1
E-mail：c0126@idc.minpaku.ac.jp FAX：06-6878-7503

Program

10:00-10:05　館長挨拶　須藤健一（国立民族学博物館）　Ken'ichi Sudo

10:05-10:10　開会挨拶　鈴木七美（国立民族学博物館）　Nanami Suzuki

10:10-10:40　趣旨説明　Introduction
◆丹羽典生（国立民族学博物館）
Norio Niwa (National Museum of Ethnology)

10:40-11:20　**「変革期と宗教的社会運動：先住民主体の経済開発思想への期待と変遷」**
Socio-religious Movements in Times of Transition: The Case of the Daku Movement, Fiji
◆丹羽典生（国立民族学博物館）
Norio Niwa (National Museum of Ethnology)

11:20-12:00　**「カーゴカルト再考：社会運動から考えるメラネシアの近代性」**
Rethinking Cargo Cults: A Social Movements Approach to Melanesian Modernity
◆石森大知（武蔵大学）
Daichi Ishimori (Musashi University)

12:00-13:00　昼食　Lunch Break

13:00-13:40　**「国家に挑戦する：ソロモン諸島におけるモロ運動と政治不安」**
Challenging the State: The Moro Movement and Civil Unrests in Solomon Islands
◆ターシャス・タラ・カブタウラカ（ハワイ大学）
Tarcisius Tara Kabutaulaka (University of Hawaii)

13:40-14:20　**「クーデタとカーゴ：ふたつの政治的プロジェクトの比較分析」**
Coups and Cults: A Comparison of Two Fijian Political Projects
◆ドミニク・シーダー（一橋大学）
Dominik Schieder (Hitotsubashi University)

14:20-15:00　**「カーゴポリネシア：フランス領ポリネシアにおいてジェンダーとナショナリズムを積荷する」**
Cargo Polynesia: Freighting Gender & Nation in French Polynesia and Beyond
◆デボラ・エリストン（ブリンガム大学）
Deborah Elliston (Binghamton University)

15:00-15:15　休憩　Break

15:15-15:55　**「太平洋島嶼社会におけるカーゴカルトと政治的不安定性：希望の政治学に向けて」**
Cargo Cults and Political Instability in Pacific Island Societies: Towards a Politics of Hope.
◆ニコ・ベズニエ（アムステルダム大学）
Niko Besnier (University of Amsterdam)

15:55-16:10　**「コメント：アラブからの視点」**　Comments
◆斎藤　剛（神戸大学）
Tsuyoshi Saito (Kobe University)

16:10-16:25　**「コメント：中央アジアからの視点」**　Comments
◆藤本透子（国立民族学博物館）
Toko Fujimoto (National Museum of Ethnology)

16:25-17:10　全体討論　Discussion
司会　飯高伸五（高知県立大学）

Profile

丹羽　典生
Norio Niwa
国立民族学博物館・准教授。フィジーを中心にヴァヌアツなどでフィールド調査を行っている。主な対象は、社会的宗教運動や少数民族の民族誌的研究、オセアニアの紛争に関する比較分析など。

石森　大知
Daichi Ishimori
武蔵大学社会学部・准教授。ソロモン諸島を中心にフィールド調査を行っている。ニュージョージア島での新宗教運動の民族誌的研究から、ガダルカナル島での紛争の問題などに取り組んでいる。

ターシャス・タラ・カブタウラカ
Tarcisius Tara Kabutaulaka
アメリカ合衆国、ハワイ大学太平洋諸島研究所・准教授。専門は政治学で、ソロモン諸島を主な対象に、森林伐採と経済開発、政治的介入の問題などについて研究を行っている。

ドミニク・シーダー
Dominik Schieder
一橋大学社会科学研究科・学術振興会特別研究員。文化人類学、政治学、文化分析などとの横断的な手法を用いることで、政治と文化の関係について調査を行っている。主なフィールドはフィジー。

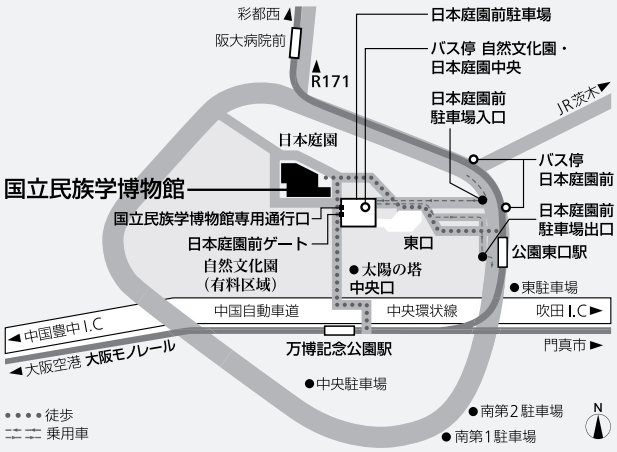
デボラ・エリストン
Deborah Elliston
アメリカ合衆国、ブリンガム大学人類学科・助教。フランス領ポリネシアを主な対象として、ジェンダーとナショナリズム、都市での暴動、セクシャリティなどについて研究を行っている。

ニコ・ベズニエ
Niko Besnier
オランダ、アムステルダム大学社会学・人類学部・教授。グローバル化の影響を受けたオセアニアにおけるジェンダー分析や性的マイノリティーについて研究を行っている。主なフィールドは、トンガ、ツバルなど。

交通のご案内

＊国立民族学博物館（みんぱく）は大阪・千里の万博記念公園内にあります。
「みんぱく」とは大学共同利用機関法人　人間文化研究機構国立民族学博物館の愛称です。

●大阪モノレール…「万博記念公園駅」下車徒歩約 15 分
＊国際シンポジウムに参加される方は、参加券を自然文化園ゲート窓口でご提示くだされば自然文化園を無料で通行できます。
「公園東口駅」下車徒歩約 15 分
＊「公園東口駅」からは自然文化園（有料区域）を通行せずに来館できます。
●バス……［**近鉄バス**］（阪大本部前行き）阪急茨木市駅から約 20 分、JR 茨木駅から約 10 分「日本庭園前」下車、徒歩約 15 分
［**阪急バス**］（万博記念公園駅経由千里中央行き）
阪急茨木市駅から約 20 分、JR 茨木駅から約 10 分
「自然文化園・日本庭園中央」下車、徒歩約 5 分
●タクシー……万博記念公園「日本庭園前駐車場」まで乗り入れることができます。下車、徒歩約 5 分
●乗用車……駐車場が無いため「みんぱく」への車の乗り入れはできません。
万博記念公園の駐車場（有料）をご利用願います。最寄りの「日本庭園前駐車場」から約 5 分
＊「日本庭園前駐車場」をご利用の方は、「日本庭園前ゲート」横にある「国立民族学博物館専用通行口」をお通りください。



国立民族学博物館

◉お問い合わせ
紛争と宗教シンポジウム事務局（国立民族学博物館内）
〒565-8511 大阪府吹田市千里万博公園 10 番 1 号
E-mail:c0126@idc.minpaku.ac.jp　FAX:06-6878-7503
http://www.minpaku.ac.jp/research/activity/news/corp/20130126（日本語）
http://www.minpaku.ac.jp/english/research/activity/news/corp/20130126（English）

みんぱく携帯サイト